

国際大会派遣選手選考基準

< 2014年度／平成26年度 >

平成26年1月1日
JPA技術委員会

国際大会派遣選手選考規程第2条第2項の規定に基づいて、以下のとおり定める。

1 国際大会の選考大会

・2014年度における国際大会の参加選手の選考大会となる全日本選手権大会は、次のとおりとする。

世界男子・女子パワーリフティング選手権大会	2014年度全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会
世界マスターズパワーリフティング選手権大会	2014年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会
世界ジュニアパワーリフティング選手権大会	2014年度全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会
世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会	2013年度全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会（3月23日・埼玉）
世界クラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	2013年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（一般）（2013年9月6～8日・長野）
世界ジュニア・サブジュニアクラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	2013年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（ジュニア・サブジュニア）（2013年9月6～8日・長野）
世界マスターズクラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	2013年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（マスターズ）（2013年9月6～8日・長野）
アジアパワーリフティング選手権大会	2013年度全日本パワーリフティング選手権大会（一般、ジュニア、マスターズ、サブジュニア）
世界ベンチプレス選手権大会	2013年度全日本ベンチプレス選手権大会（2013年12月・栃木）
世界マスターズベンチプレス選手権大会	2013年度全日本マスターズベンチプレス選手権大会（2013年9月15日・福岡）
世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス選手権大会	2013年度全日本ジュニア・サブジュニアベンチプレス選手権大会（2013年12月・栃木）
アジアベンチプレス選手権大会	・2013年度全日本一般・ジュニア・サブジュニアベンチプレス選手権大会（一般、ジュニア、サブジュニア）（2013年12月・栃木） ・2013年度全日本マスターズベンチプレス選手権大会（マスターズ）（2013年9月15日・福岡）
アジアクラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	2013年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2013年9月6～8日・長野）

・上記以外の国際大会については、その都度、選考条件等を明確にして対応する。

2 国際大会参加標準記録

(1) 世界男子・女子

選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録の105%以上。

(2) 世界マスターズ

選考大会となる全日本マスターズパワーリフティング選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

(3) 世界ジュニア

選考大会となる全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本参加標準記録の90%以上。

※女子43kg級は215kg、男子53kg級は412.5kgを参加標準記録とする。

(4) 世界サブジュニア

選考大会となる全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の75%以上（別途サブジュニア選考規定に準ずる）。

※女子43kg級は180kg、男子53kg級は345kgを参加標準記録とする。

※高校連盟との申し合わせにより、選手枠に空きがある場合は、そのクラスの準優勝者で国際大会参加標準記録を達成した競技者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。ただし、辞退者がいても繰り上げない。

(5) 世界クラシックパワー

選考大会となるジャパングラシックパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の105%以上。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

(6) 世界ジュニア・サブジュニアクラシックパワー

・ジュニアについては、選考大会となるジャパングラシックパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の90%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となるジャパングラシックパワーリフティング選手権大会において、記録がノーギア一般の全日本標準記録の75%以上（別途サブジュニア選考規定に準ずる）。

※ジュニア女子43kg級は160kg、男子53kg級は310kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は135kg、男子53kg級は257.5kgを参加標準記録とする。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

(7) 世界マスターズクラシックパワー

選考大会となるジャパングラシックパワーリフティング選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

(8) アジア（シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア）

・各選考大会において6位以内に入賞していること（別途サブジュニア選考規定に準ずる）。

・一般（シニア）については、選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の100%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対して、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は202.5kg、男子53kg級は390kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は167.5kg、男子53kg級は320kgを参加標準記録とする。

(9) 世界ベンチプレス

選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の125%以上。

(10) 世界マスターズベンチプレス

選考大会となる全日本マスターズベンチプレス選手権大会において4位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録に対して、マスターズⅠは100%、マスターズⅡは90%、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

(11) 世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス

・ジュニアについては、選考大会となる全日本ジュニアベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となる全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の80%以上（別途サブジュニア選考規定に準ずる）。

※ジュニア女子43kg級は55kg、男子53kg級は120kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は42.5kg、男子53kg級は95kgを参加標準記録とする。

(12) アジアベンチプレス

・各選考大会において6位以内に入賞していること（別途サブジュニア選考規定に準ずる）。

- ・一般（シニア）については、選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。
- ・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は45kg、男子53kg級は100kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は37.5kg、男子53kg級は82.5kgを参加標準記録とする。

(13) アジアクラシックベンチプレス

別途定める。

3 選考方法（国際大会派遣選手選考規程第3条、第6条及び第8条に準拠する）

- ・上記「1」に示す国際大会の選考大会にて、各国際大会の参加標準記録を突破した選手に、国際大会参加権利が与えられる（優勝しても上記参加標準記録を突破していなければ選考対象にならない）。
- ・選手選考では、原則として各階級1名を選考する。但し、空き枠の発生により同階級内2名までの選考を認めることがある。
- ・選考の時点では、いかなる場合も選考会出場階級以外での国際大会参加権利は与えられないものとする（選手団結成後において、階級変更が生じる場合、各国際大会選手団長の判断に委任する。但し、同じクラスに3名の選手が出場を希望した場合、そのクラスの優勝者が最優先となり、あとはフォーミュラの高い方が優先となる）。
- ・選考の優先順位は次の通りである。
 - ① そのクラスの優勝者で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
 - ② 上記①の該当者が辞退した場合、辞退者と同階級の2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
 - ③ この時点で空き枠が発生する場合、②に該当しない各階級2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。
 - ④ この時点で空き枠が発生する場合、②及び③の選考方法に準じ3位、またはそれ以下に繰り下げて選考する。

4 選手選考における付加条件

- ・カレンダーイヤーで、国際大会の出場時点ではマスター各カテゴリーであるが、選考大会の開催時点では、そのカテゴリーに達していない競技者の場合、選考大会時は適正カレンダーイヤーのカテゴリーで出場し、国際大会出場予定時の該当カテゴリーでの選考対象に加える。
- ・優勝者のカテゴリーが変わり、空き枠が発生した場合、2位以下をそれぞれ繰り上げて選考する。
- ・マスターズクラスの選考に関しては、各選手の出場年齢カテゴリーごとに選考する。

例1：選考大会出場時はカレンダーイヤー39歳だが、国際大会出場時は40歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はオープンで参加し、マスターⅠの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

例2：選考大会出場時はカレンダーイヤー49歳だが、国際大会出場時は50歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はマスターⅠで参加し、マスターⅡの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

5 その他

- ・技術委員会及び国際委員会は、選手団の編成や国際大会選手派遣に関する業務に支障を来す言動を取る競技者がいる場合、当該競技者を選考対象及び選手団の編成から外すことができる。

以上